

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 26 日

上場会社名 東京急行電鉄株式会社

（コード番号：9005 東証 第 1 部）

（URL <http://www.tokyu.co.jp/>）

問合せ先 代表者 代表取締役社長 上條 清文

責任者 財務戦略推進本部 連結経営推進部

IR 担当課長 柏崎 和義

（TEL：03-3477-6168）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有
（内容）

従来、建設事業セグメントにおける完成工事高の計上基準は、主として長期大規模工事（工期 24 ヶ月以上に亘り、且つ請負の対価の額が 100 億円以上の工事）に限り工事進行基準、その他の工事については工事完成基準を採用しておりましたが、当期より主として工事進行基準を採用しております。但し、工期が 1 年以内の工事については工事完成基準によっております。

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 売上高（百万円未満切捨て）

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	339,403	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-
（参考）15 年 3 月期	1,385,438	

（注）売上高は、当該四半期までの累計値

パーセント表示は、前年同四半期比増減率

四半期決算の開示は当第 1 四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

セグメント別売上高

	前期	当第 1 四半期	通期予想
	百万円	百万円	百万円
交通事業	263,785	64,563	260,700
不動産事業	148,769	33,078	168,500
流通事業	394,174	95,763	386,800
レジャー・サービス事業	89,004	19,859	90,000
ホテル事業	117,334	26,882	112,600
建設事業	387,136	110,116	208,100
その他事業	111,472	13,473	82,500
計	1,511,677	363,737	1,309,200
消 去	126,238	24,334	99,200
連 結	1,385,438	339,403	1,210,000

鉄軌道事業運輸成績（個別）

	当第 1 四半期	前年同期	比較増減	
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期外	103,533	100,486	3,047	3.0
定期	151,496	150,402	1,094	0.7
計	255,029	250,888	4,141	1.7
運輸収入	百万円	百万円	百万円	%
定期外	17,472	16,992	479	2.8
定期	13,353	13,229	123	0.9
計	30,825	30,222	602	2.0

交通事業における当社の鉄軌道事業では、昨年 12 月の大井町線大井町駅でのりんかい線との接続、本年 3 月実施の営団半蔵門線を介しての田園都市線と東武伊勢崎線・日光線との相互直通運転など鉄道ネットワークの拡充等により、当第 1 四半期の輸送人員は前年同期に比べ定期外で 3.0%、定期で 0.7%増加し、全体では 1.7%の増加となりました。

不動産事業では、当社の不動産販売事業において、建売住宅、戸建用地、集合住宅（マンション）の分譲が堅調に推移し、その中心である多摩田園都市における販売実績は建物販売戸数が 20 戸、土地販売面積は 28 千㎡となりました。

レジャー・サービス事業では、旅行業において、イラク戦争ならびに東南アジアで発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）の影響により、海外旅行市場の需要が急激に悪化いたしました。連結子会社の東急観光(株)では、前年同期比で取扱高が減少しているものの、概ね期初予想どおり推移しております。また、有線テレビジョン放送業のイツ・コミュニケーションズ(株)では、放送サービス・通信サービスとも順調に加入者が増加し、当第 1 四半期末時点の累計加入世帯数は 395,100 世帯となりました。

ホテル事業では、本年 4 月 1 日をもって当社のホテル事業を連結子会社の(株)東急ホテルチェーンに営業譲渡いたしました。東急ホテルズの直営 49 店舗の当第 1 四半期の客室稼働率は 74.4%となりました。

建設事業における東急建設(株)の当第 1 四半期の受注高は、官公庁工事は減少傾向が続いたものの、民間工事が増加したことにより、前年同期に比べ 12.1%の増加し 43,980 百万円（同社個別ベース）となりました。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 339,403 百万円となり、概ね計画どおり推移しております。不動産事業、その他事業につきましては、通期予想に対する当第 1 四半期売上高の割合が低くなっておりますが、季節的要因によるものであります。また、連結子会社である東急建設(株)の会社分割に伴い、建設事業の通期予想につきましては同社の建設事業収支を上半期のみ織込んでおります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

連結子会社の東急建設(株)は、平成 15 年 6 月 25 日開催の同社定時株主総会において、平成 15 年 10 月 1 日を分割期日(予定)として、TCホールディングズ(株)が同社の建設事業部門を承継する会社分割(人的吸収分割)を内容とした「分割契約書」が承認されております。

なお、TCホールディングズ(株)は平成 15 年 10 月 1 日に社名を東急建設(株)に変更し、現東急建設は同日付で社名をTCプロパティーズ(株)に変更いたします。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想(平成 15 年 4 月 1 日~平成 16 年 3 月 31 日)

第 1 四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、平成 15 年 5 月 27 日公表の連結業績予想に変更はありません。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	680,000	14,800	2,000	1 77
通期	1,210,000	33,300	15,000	13 46

(注)上記の予想は発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上